

学校 教育 目標	「笑顔いっぱい やさしいいっぱい 芹が谷大好き みんないきいき 芹南っ子」 ○ 友達との学び合いを通して考えを深め、自ら学んでいく子を育てます。(知) ○ 自分を支えてくれるまわりの人に感謝の気持ちを持ち、自分も友達も大切にすることを育てます。(徳) ○ 豊かな心と健やかな体を持ち、命を大切にすることを育てます。(体) ○ 芹が谷のまちに愛着を持ち、地域と共に生きる子を育てます。(公) ○ 自分の気持ちを素直に表現し、未来に向かって生きる子を育てます。(開)				
	学校概要	創立 49 周年	学校長 高木 篤子	副校長 柴 諭	2 学期制 一般学級: 12 個別支援学級: 3
児童生徒数: 313 人 主な関係校: 芹が谷中学校・上永谷中学校・東永谷中学校					

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	芹が谷中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<コミュニケーション能力> ○ 目的や意図に応じて伝える力 ○ 多様な考えのよさを生かす力 ○ 互いに伝え合うことで、自分の考えを深める力	芹が谷中学校 芹が谷南小学校 芹が谷小学校	発達段階に応じたコミュニケーション能力の伸長 「自分の思いを大切にし、相手のことを考えて伝える子」 ・ブロック合同授業研修及び研究協議会を行い、「学力観・指導観・評価観」を共有し、授業改善を通し子どもたちの学力向上を図る。 ・児童生徒交流の機会として、授業見学や部活動体験、コンサートなどを実施し、小学校から中学校への接続を円滑に進める。 ・3校の児童生徒代表が学校づくりについて話し合うとともに、地域のネットワークの中で意見交換することで、挨拶運動等の取組を地域とともに広める。

中期 取組 目標	○ 学ぶことの意義や楽しさを感じながら基礎・基本を身に付け、知をはたらかせて生きる力を育みます。 ○ 自分を大切にすることを育むとともに、相手の立場や気持ちを考えて行動する態度を育みます。 ○ 自分の健康や安全について考え、心身ともにたくましく生きる力を育みます。 ○ 自分たちのまちに愛着を持ち、コミュニケーションを図って視野を広げ、つながりを大切にすることを育みます。
----------------	---

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知 〔学習指導〕 担当 学力向上・評価部会	①「わかる・たのしい授業」を目指すために、板書や発問の工夫をしたり、ICTを効果的に活用する。 ②学年教科分担任制を3年～6年に広げるとともに、少人数指導や学習ルームの個別指導等を充実させる。 ③生活・総合の学習を中心に、自分たちの課題を解決し、思いを実現させたいことを通して、主体的に学び続ける児童を育成する。
豊かな心 〔道徳・人権〕 担当 道徳、人権・児童指導部	①「人権教育実践推進校」2年目として、人権教育や道徳教育の充実を図り、人とのつながりや体験活動を通して、自己肯定感を高める。 ②代表委員会では児童の主体性を大切にし、自らの生活を豊かにしていこうとする心を育てる。 ③日々明るく声をかけ合うことを大切にし、校内と地域で挨拶運動を行う。
健やかな体 〔健康・安全〕 担当 保健・安全部会	①感染症等に対する正しい知識を持ち、手洗いや換気、距離の保ち方など新しい生活様式への意識を高めるように働きかける。 ②学援隊による見守り活動や、関係機関との連携で行う交通安全教室や防災・防犯学習により、意識を高める。 ③縄跳び運動を推進し、体力の維持・向上を図る。
未来を開く志 〔自分づくり〕 担当 特色ある活動部会	①なかよし学年やクラブ活動では、異学年交流を充実させ、つながりを築く活動を展開する。 ②「オリンピック・パラリンピック教育推進校」3年目として、スポーツの精神等に触れるとともに、インクルーシブな社会に視野を広げる。 ③自らの学びを振り返りながら、新たな意欲につなげたり自分のよさに気付いたりする活動を充実させる。
一人ひとりのニーズ 〔特別支援教育〕 担当 特別支援コーディネーター	①支援の必要な児童が安心して学校生活を送るために、必要に応じて関係機関と連携しながら組織的に指導にあたる。 ②「個別の支援計画」「個別の指導計画」を立て、個に応じた支援を充実させる。 ③支援が必要な児童のよさが認められ、安心して過ごせる居場所作りをする。
地域と歩む学校 〔学校運営協議会〕 担当 教務部	①学校運営協議会、学校だより・ホームページなどで情報発信し、学校教育への理解を深め、地域とともにある学校づくりを目指す。 ②今までのつながりから地域の材を生かしつつ、新たな材を開発し、地域の方々とふれ合う機会を設定し、児童がまちのよさを感じられるように交流を図る。
いじめへの対応 担当 人権・児童指導部	①教職員全体で情報共有及び共通理解を図り、いじめをゆるさない風土をつくり、いじめ防止対策委員会を中心に組織的・継続的に支援・指導する。 ②Y-Pアセスメントやアンケートを計画的に実施し、児童の課題を早期発見し、早期対応する。 ③芹南スタンダードを基に、児童の認識を深め、規律ある学校生活を送れるようにする。
人材育成・ 組織運営 (働き方改革) 担当 教務部	①校内研修を計画的に実施し、コンプライアンス、児童指導、危機管理等、必要な事項や留意すべき点を確認して資質を向上させる。 ②一人一回公開授業を行う重点研究をはじめ、メンターチーム研修等相互に授業を参観し、学習指導・児童指導の実践力を高める。 ③校内分掌の組織及びねらいを明確にして効率よく会議を進め、機能及び内容の充実を図る。